

平成 24 年度 第 2 回 福祉サービス相談委員会内容

日時：11 月 19 日（月）9:00AM から 10：00AM 迄。

場所：みのり保育園 増築園舎 1 歳児ほふく室（みどり組室）

議題：①今年度の行事について②その他

出席者：小栗栖法秀（苦情受付責任者）、岡本美保子（苦情受付担当者）、三浦昭子（第三者委員・新任）、藤川勝也（第三者委員）、高橋秀徳（利用者代表・保護者会会長）

欠席者：野田瑞穂（第三者委員）、

定刻 9：00AM 開会

委員長野田瑞穂氏の欠席により、苦情受付責任者・小栗栖法秀園長が委員長代行をし、開会した。冒頭、本年 6 月 30 日付け退任の新庄真理子氏に代わり、新に、第三者委員となった三浦昭子氏を、委員長が紹介し、本人へ委嘱状を渡して、議事に入った。

①今年度の行事について

園長：その前に、新しい三浦委員も就任したことです。まず、「苦情解決・処理について」説明します。苦情解決責任者は園長の小栗栖法秀。受付責任者は主任の岡本美保子です。第三者委員は野田瑞穂氏。同じく藤川勝也氏。同じく新任の三浦昭子氏。三浦氏は前任者である新庄真理子氏との交代で、現職の民生児童委員です。本年 6 月 30 日付けで、新庄氏が本園理事会の監事を退任されたことに伴い、本委員会の第三者委員も退任となった為、三浦氏が、本年 7 月 1 日付けで理事会監事に就任し、同時に第三者委員としても就任いただいたものです。本委員会の任期としては、とりあえず、前任者・新庄真理子氏の残任期間を補充することになります。宜しくお願い致します。そして、利用者代表としては、保護者会会長の高橋秀徳氏です。以上が、この委員会の構成です。

苦情解決の手順につきましては、まず、現場で生じた苦情について、ひとまず主任の岡本が対応します。対応しきれない問題については、責任者の園長に報告し、解決します。それでも解決できない問題については、この委員会に委ねます。議決権は、主任を除く 5 名にあり、可否同数の時は委員長の裁決によります。しかしながら、この委員会にかかるような問題は、そう度々あるものではなく、大抵、主任のところ概ね解決しています。たまに、園長のところまで、事後報告が上がる程度です。

次に、苦情解決委員名簿をご確認下さい。ご氏名、住所等、誤りはありませんか？

三浦委員：私の住所が上戸次となっていますが、中戸次の間違いです。

園長：失礼しました。訂正します。

次に、「福祉サービス相談委員会規程」を、ご一読下さい。

次に、「今年度の実施行事・予定行事」をご覧下さい。今までの 5 月の「独居老人訪問」は、「一人暮らしのお年寄りを励ます会」と名称が変わりました。7 月のとうもろこし狩りは、急に日程が決まって、実施しました。8 月の秋祭りには、2 人の保育士と、園長も出ました。子育て講座は、福岡県より幼児教育専門家の熊丸みつ子先生に来園いただき、「うちの子、最高！」という講題でお話をいただきました。好評でした。

10月の運動会は大盛会でしたが、駐車場の問題が出ました。大谷歯科の南西向かい側にある天心堂さんの駐車場に、本園関係の車両が大量に駐車。同病院のデイサービス車両も駐車できない状態に加え、病院利用の患者さん等が駐車できず、「何かあっているんですか？」という苦情が病院へ殺到したということです。堪らず、同事務長さんが後日、園に来られ、苦衷の申出があり、園長が謝罪して、一応事態を収拾しました。今後の対応といたしましては、園の大きい行事の際には、同所に職員等を置き、プラカード表示などで対応して、今回のような問題が起きないように、対処することにしました。今度のおたのしみ会の時には、いこいの家の駐車場を借りようと思います。

高橋委員：残念ですね。それにしても、やはり、誰かが現地に立って、駐車しないように配慮すべきではないでしょうか。また、中学生との交流もあるようなので、中学校は駐車場として借りられるのではありませんか。

園長：そうですね。中学校にもお願いして、借りるようにしましょう。

では、説明を続けます。秋の遠足は、4・5歳児が、昨年通り、川床の土手へ散策予定でしたが、雨が降ったので、園内でお弁当を食べました。職員の健診は10/10から11/20の間に実施し、終了しました。

青組懇談会は、10月頃に小学校で新入学童の身体測定等があり、この時期に青組懇談会をすると、時期的に重複するので、4～5月頃実施したらどうか、という意見が出ていますので、来年からはそのようにしたいと思っています。

ののさまの日には、正信偈を4・5歳児がどんどん読むので、お参りしているお年寄りが、びっくりして、感心していました。

12月に予定している「だんご汁パーティ」は、来年1月の最後の週に実施の予定です。近隣のおばあちゃん方が、毎年、指導をしてくれます。

今年の監査は、消防局予防課の方が見えるので、消防方面の点検がされると思います。

資料裏面をご覧ください。施設強化補助金で「おんぶだっこ紐」を買いました。先日、県の保育連合の県外視察研修で、宮城県の津波被災地区の保育所を視察した時に、現場の保育士さんから聞いたのですが、リヤカーが一番役に立ったそうです。子どもを沢山移動できるからです。また、前後に子どもを担えるという点では、「おんぶだっこ紐」はとてもいいと云っていました。因みに、カセットコンロと、非常食としては、ポッキーがとても役立ったそうです。児童名簿は、人数把握等のために、絶対必要だったと云っていました。非常食等々を詰め込んだ防災リュックも必要なのですが、第一に、ひとりでも多くの園児を救出する時には、実際上は、あまり役に立たないのではないかと云っていました。また、緊急の際には、書類の持ち出し等は、まず出来なかった、とも云っていました。

11/6～9にかけての不審者騒ぎは、結局、勘違いということで、警察から報告があり、解決しました。

最後になりましたが、青組さんだけで卒園親子バス遠足が出来ないか、という意見もあるのですが、どのように考えましょうか？

高橋委員：そうですね。でも、みんな、実施しないということで説明を受けて、了承をしているので、あまり、不公平にならないようにして頂きたいですね。

園長：はい、当然、そのこともあるのですが、本来は、駐車場の確保が非常に難しい為に、実施を取りやめたという経緯がありますので、何卒、ご理解をいただきたいところです。

②その他

園長：待機児童対策で、大分市は、補助金による、分園等の施設整備を、目下、考えている様です。幼保一元化の動きの中では、児童受入の容量は大きくした方がよい、との大方の観測です。

藤川委員：施設整備をしても、当初はいいかもしれないが、長い将来を見たときには、そんなに子どもが増えるとは考えられない。子どもの取り合いになったりしないか？

園長：分かりました。状況を適正に判断したいと思います。本日は以上ですが、何か他にご意見、ご発言等はありませんか？（特になし）それでは、これで閉会します。貴重なご意見を、ありがとうございました。